



新潟発！災害発生時「食の安心を！」はんぶん米

関係各位

有限会社エコ・ライス新潟



泉田知事にフードアクションニッポン優秀賞受賞を報告！
中央防災会議で食事制限者備蓄を提言へ！
NICO 防災研の継続と防災分野の強化を明言！

○ 日本の安心安全に新潟の体験を活かす防災を発信！ ○

フードアクションニッポンアワードの優秀賞を泉田知事に報告しました。泉田知事は「災害時の食事制限者のケアは重要。中央防災会議で人工透析患者等用の備蓄を提言する」と明言。

中越大震災、東日本大震災で食事制限者の苦しみを泉田知事から政府に提言することは、新潟県の災害の経験を全国に普及させることで、地震をはじめとする自然災害の多い日本にとっての安心安全につながる画期的な提言だと確信します。泉田知事には一日も早く提言されることを願います。

○ (財)にいがた産業創造機構「防災・救災産業研究会」再始動になるか？ ○

中越大震災を契機に誕生した「防災・救災産業研究会」は、当社をはじめ県内の様々な分野の企業が参加して全国に先駆けて防災・救災用品の開発と情報発信するものでした。しかし、惜しまれつつ本年3月をもって研究会は終了しました。泉田知事からは「防災研はやめません。強化します！」との強い発言があり、再始動の可能性が出てきました。

新潟の新しい産業になりうる防災関連の火を消さないため、知事のリーダーシップに期待。



知事への報告後、名刺交換。もちろんモンペにポロシャツ。面談日は4月なのに吹雪く異常な寒さを吹き飛ばす学生の姿に、知事からは熱い応援の言葉を頂戴しました。お忙しい中、お時間を頂いたことを感謝申し上げます。



東京家政大学白藤プロジェクト第6期リーダーの鮫島梨紗さん(3年)が、大豆を使わない米味噌で味付けした「米粉クッキー-災害用」(小麦・卵・乳、不使用)を知事に試食。「美味しい！！」と知事からお墨付きを頂戴する！

東田知事は6日、自身が委員を務める政府の中央防災会議で、長岡市の米穀販売会社「エコ・ライス新潟」が開発した人工透析の患者も食べることが出来る非常食「はんぶん米」の活用を提言する方針を決めた。「はんぶん米」は、2004年の中越地震で同社の社員が避難所生活を送り、高齢者や食事制限のある患者向けの非常食が備蓄されていないことを知って開発した。通常消化できる半分量のたんぱく質しか含ま

2012.4.7
読売新聞朝刊

れないアルファ米が原料。「はんぶん米」は東日本大震災以降、全国の各自治体が備蓄に向けた動きを進めている。知事は国に備蓄を働きかけ、米の需要喚起にもつなげたい考え。

人工透析の患者向けの米
知事、政府会議で活用提言へ

【 問合せ先：(有)エコ・ライス新潟 豊永有(トヨガユキ) 】

〒954 - 0181 新潟県長岡市脇川新田町字前島 970 - 100

TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447

e - mail eco-net@nekonet.ne.jp

